

中国の技能実習生 3 人が病院で実習スタート

茨城国際親善厚生財団（I I F F）が監理団体となって受け入れている中国からの外国人技能実習生が2月12日、城西病院に着任しました。

3人は、左長城（サ・チョウジョウ）さん、韋孟岩（イ・モウガン）さん、李凡（リ・ファン）さんで、病院のヘルパー業務を通じて、介護について学んでいきます。コロナ禍のために日本が入国を制限する直前の1月5日に入国。栃木県小山市の学校で、宿舎から外出せずリモート授業を受け、日本語や日本の文化、生活習慣など、入国後研修を約1カ月間学びました。

2021年2月13日



左長城（サ・チョウジョウ）さん

山東省出身、21歳。日本語検定はN3で、中国で看護師資格を取得。趣味は歌を歌うこと。中国の歌が好きで、少し以前に流行った懐かしのメロディーが好きという。スポーツは卓球。小さいときには大きな大会に出場した経験もあり、中国では毎週2日、卓球の練習に打ち込んでいました。



韋孟岩（イ・モウガン）さん

河南省出身、22歳。日本語検定はN3で、中国で看護師資格を取得。小説を読むことが趣味で、特に恋愛小説が好きという。バトミントンが好きで、中国にいたときは、よくバトミントンを楽しんでいたという。来日して、仕事の合間に東京に行ってみたいといいます。



李凡（リ・ファン）さん

西安市出身、22歳。日本語検定はN4で、中国で看護師課程の学校に通っていました。日本の歌が好きで『Lemon』やポケモンの主題歌を歌っています。日本のアニメも好きで、大ヒットしている『鬼滅の刃』をすでに中国で鑑賞しました。日本に来たら京都を訪れたいといいます。

